

風炉・盆点・逆勝手

- *唐物茶入を盆にのせて扱う点前の逆勝手バージョン。
- *本勝手の唐物点前を基本にして、逆勝手の三座替り（違い点）でおこなう。
- *向かって風炉を左、水指を右に配する。

風炉の左前、風炉の左端のラインが茶入（盆）の中央になるように、盆にのせた茶入を飾り付けておく。

《点前手順》

仕組んだ茶碗を運び出し、右膝前あたりに一旦おいて、勝手付（後で建水が来たときに、建水の上になるあたり）に置く。

柄杓蓋置を仕組んだ建水を右手で持って入り、右膝右あたりに置く。

柄杓を右手で取って持ち上げ、左手で蓋置を取り出す。

柄杓を元の通りに置いて左手の蓋置を右手に持ち替える。

右膝上あたりで蓋置の正面を確認。

右手で蓋置を水指と風炉のあいだ、水指の蓋摘みよりも少し前あたりに置く。

蓋置を置いたら客へ挨拶。

茶碗を右手で取って居前に置く。

盆を両手で、身なりに（自分方向に斜めに）左膝先に引き寄せて置く。

茶入を右手で持って居前に置き、茶入の仕覆を解きかけにして、再度右手で持って、茶碗の右横に置いておく。

帛紗を取って行に捌き、盆を両手で取って帛紗で清め、また盆をもとの風炉左前に置いて帛紗を腰に納める。

（行の清め方は、四方盆など角盆は「う」のように丸味を付けて清め、丸盆は「ラ」のよ

うに一直線に角ばらせるように清める)

右手で茶入を取り、仕覆を脱がせ、右手で居前に置く。

仕覆を定所（建水の後ろ）に置く。

帛紗捌き（行）して左手に持たせ、茶入を右手で取って左手の帛紗と持ち替え茶入は左手で持ち、常の通り茶入を清め、また帛紗と取り替えて右手で風炉左前の盆の上に置く。

再度帛紗を草に捌き、常の通り茶杓を清め、盆の右上の角に斜めにわたし掛けておく。

帛紗を左手に持ちながら茶笥の綴じ目を見て建水の上の方（もと茶碗が置いてあったあたり）に置く。

茶碗を少し手前に引く

茶巾を水指の蓋上に置く（塗蓋ならば茶巾を置く前に帛紗で蓋上を拭く）

建水から柄杓を取って、左手の帛紗と持ち替え

茶杓を拭いて逆折になっている帛紗をさっと草のかたちに戻す

帛紗で釜の蓋を先ず閉め、帛紗を打ち返して勝手付に向かって釜の蓋上を清める

帛紗をまた打ち返して釜の蓋をあけ、点前座中央の蓋置に置く

帛紗を右膝上で広げて腰に付ける

柄杓を持ち直し、湯を一杓汲み、柄杓を構えて釜の蓋を閉める

蓋置を取って水指の前に移す

柄杓を蓋置に真っ直ぐ引く

茶笥打ちを三回おこない、さっと茶笥を振る

茶碗を取って、逆廻しにさっと回す

右手で茶碗の湯を捨て、茶碗を左手に持たせて茶巾を右手で取り、
茶巾を茶碗のなかに入れる

茶巾をひろげ、茶碗の外・内を拭く

茶碗を置いて、茶巾を畳み直し、茶巾を水指蓋上に置く

手の湿りを取る

右手で茶入を取り、左手に渡し、右手で蓋をあけて、蓋を盆の中央真中か中央手前のところに置く。

その手で茶杓を取って、茶入から茶碗に茶を掬い入れ、入れ終えたら茶杓は茶碗にわたし掛けておく。

帛紗で茶入の口をさっと清め、帛紗はすぐに腰に戻す。

茶入の蓋をして、茶入を右手に渡して、右手で茶入を盆の上の元の所に戻す。

茶杓を取って茶碗のなかの茶をよくこなし、茶碗の縁で茶杓を打って茶を落とし、左手であしらって、元にあった通り盆に置く。

柄杓を取って左手に持たせ、右手で帛紗を片手捌きし、
帛紗で釜の蓋を取って蓋置に置く。

帛紗を腰に納める。

湯を汲み、適量を茶碗に入れ、残りの湯を戻して柄杓を釜に掛ける。

建水近くの茶笥を取って茶を点て、茶笥を元のところに戻す。

茶碗を左横に仮置きして振り向く

茶の点て具合を確認し、茶碗を客に向けて出す

出帛紗（替和巾）を取り出し、◆の形に客に向けて茶碗の下座に置く

服加減の挨拶

服加減の挨拶後、中仕舞い

柄杓を取って左手に移し、釜の蓋をする

柄杓を蓋置に真っ直ぐに引く

出帛紗（替和巾）が戻ったら取り込んで懐中し、中仕舞いを解く

柄杓を取って左手に持ち替え、帛紗を片手捌きして釜の蓋をあけ、蓋置に釜の蓋を置き、帛紗を腰に納める

柄杓を釜に掛け、茶巾を釜の蓋上に移す

水指の蓋をあける

茶碗が戻ったら客付に振り向き、茶碗を取り込んで茶碗内を確認、次いで茶の園香を聞く

風炉に向かい、茶碗を居前に置く

客からの礼を受けて一礼

柄杓を取り、一杓湯を汲んで、茶碗に入れ、柄杓を釜に掛け、茶碗を取って、よく回して茶を落とす

湯を捨てて、茶碗を居前に置く

後ほど薄茶を差し上げる旨の挨拶

柄杓を取って左手を添えて持ち直し、水を一杓汲んで茶碗に入れ、柄杓を釜に掛け、茶筴を取って茶碗に入れ、茶筴打ちを一度して茶筴をすすぐ

茶筴を元の通りに置き、茶碗を取って水を捨て、茶碗を居前に置く

茶巾を取って茶碗に仕込み、茶筌を取って、左手を添えて持ち直し、綴じ目を上にして茶碗に仕込む

帛紗を取って捌き、盆から茶杓を取って清め、茶杓を茶碗にわたして掛け、帛紗を腰に納める

茶碗を右手で取って、点前座中央から少し右にずらす

両手で盆を取って、茶碗の左に置き付ける
(茶碗と盆の中央が点前座中央というか、風炉の右端の通りになるように)

柄杓を取って、合を水指の前の縁に仰向けに掛けて持ち直し、適宜に水を汲んで釜に入れ、湯返しをする

釜の前の縁に柄杓の合を掛けて持ち直し、柄杓を左手に持ち替えて構え、右手で釜の蓋をする

右手で蓋置を勝手付のきわ（建水の前方）に移す

柄杓の合をその蓋置の上に置き、
建水を引いて、その建水の縁に柄杓の柄を掛ける

水指の蓋を取り、水指の蓋を閉める

客からの拝見の所望を受ける

盆（茶入）を取って客付に振り向き、居前に置く。

右手で茶碗を点前座中央に移す。

帛紗を行に捌き直し左手に持たせ、右手で茶入を取って左手の帛紗と取り替え、右手で帛紗を持って茶入を常の通り清める

左手は茶入を持ったまま、右手で右膝の上で帛紗を捌き直し、前の通り盆を清め、また右手の帛紗と左手の茶入を持ち替えて右手で茶入を盆の上に置き、帛紗を袂に入れる。

盆（茶入）を取って向きを変え、客付に出す。

仕覆を取って茶入の下座に出し、茶杓を取って客付きに向け仕覆のつがりのあたりに茶杓の節上がくる程度に置く。

戻って、柄杓を右手で取り、蓋置を左手で取って右手に持たせ、そのまま勝手付に居座って、左手で建水を持って立ち上がって水屋に下がる

また出て茶碗を持って下がる。

（運び水指ならまた出て水指を引く）

三器が戻ったら出て、客付に座り、盆（茶入）を縁内居前に取り込み、仕覆を盆の左手前、茶杓をその上に載せ、戻る。